

朝鮮半島の動き（１）文韓国大統領の訪口

吉田 進

6月21日、文大統領がロシア議会で演説した。「シベリア鉄道が、朝鮮半島を經由して私の故郷釜山に通じるようになる」（大拍手）彼は、国会で報告した経済ベルト構想をロシアで繰り返したのであろう。まず鉱工業が集中している環東海経済ベルトの開発を行なう。ここには7兆ドル(760兆円)の未開発の鉱産物があると言われている。そして環黄海経済ベルトの開発を。中小企業が集中しており、太陽熱や風力など自然エネルギー構築事業が進んでいる。残るのは、休戦ライン接境の地帯平和ベルトである。そこは緑化地域とし、観光地帯とする。

6月22日、文大統領は、プーチン大統領と会談した。両大統領は、ガスパイプラインや鉄道建設などのインフラ整備での協力推進で合意。北朝鮮への制裁が緩和されれば、南北口の3者協力を切り替える。

両首脳は共同声明を発表した。

その中には、下記が含まれている。

- ・ 鉄道、港湾、電力、北極海航路、造船、雇用創出、農業、水産の9分野の投資実現へ行動計画
 - ・ 南北口3者協力事業においては電力、ガス、鉄道分野での共同研究
 - ・ シベリア横断鉄道と朝鮮半島縦断鉄道の連結の共同研究
 - ・ ロシアから韓国へのパイプラインによるガス供給の共同研究
- 覚書には、
- ・ 南北口3者プロジェクトに備えた共同研究(韓国鉄道公社とロシア鉄道公社)
 - ・ 液化天然ガス(LNG)基地「北極2」などプロジェクト情報の共有(韓国ガス公社とノバテック)がある。

11月6日は、米国の中間選挙。それまでに、トランプ大統領と金正恩委員長の会談が、ワシントン、平壤いずれかで開かれる。6月12日の会談では、何回もの会談を重ねることが約束されている。7月27日は、休戦協定締結日である。

米朝どちらかのイニシアティブが起こりうる。米朝韓の3者協定、あるいは中国を入れた4者協定により、休戦協定を平和協定に変える可能性もある。

『日本政府は、北朝鮮に対する「圧力と制裁」の時代は終わり、「対話と妥協」の時代が始まったことを冷静に認識しなくてはなりません』(佐藤優 AERA 2018. 6. 25)

(2018. 6. 23)